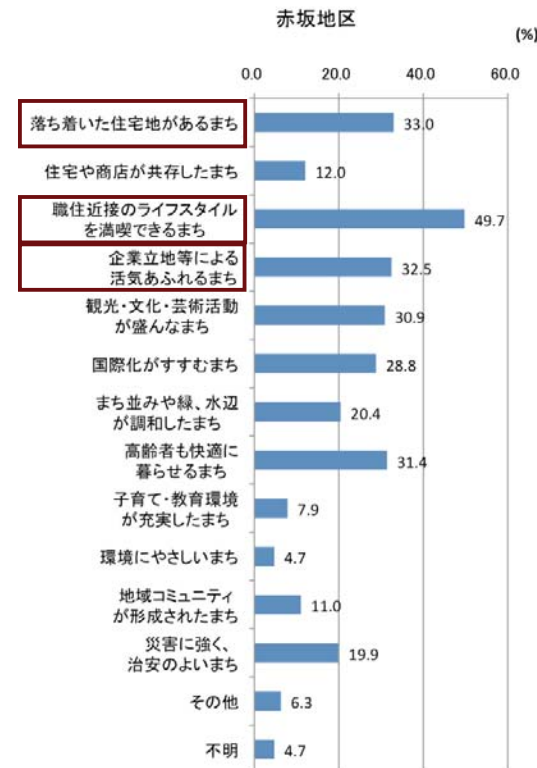
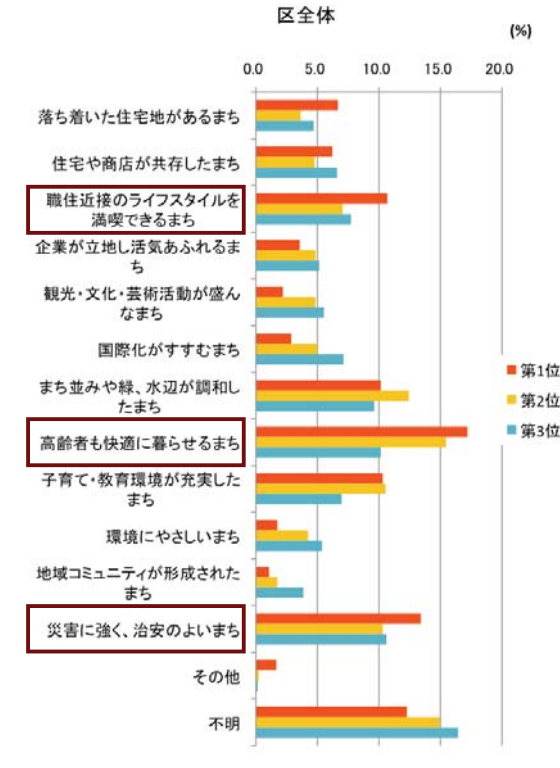


◆◆将来都市像に関する区民アンケートの結果◆◆

現在のまちのイメージ

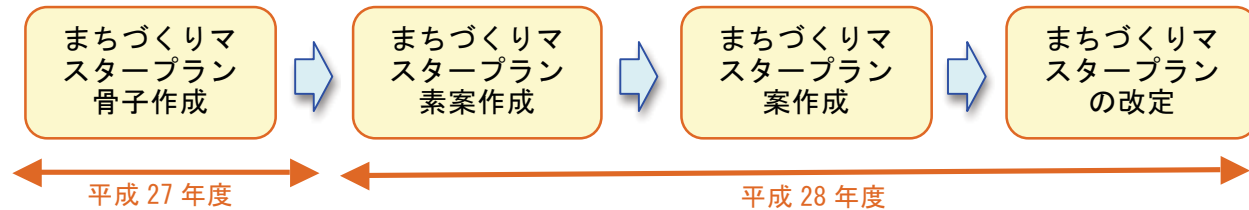


今後のまちのあり方



◆◆まちづくりマスタープランの改定スケジュール◆◆

まちづくりマスタープランは以下のようなスケジュールで改定する予定です。



◆◆次回、第3回意見交換会は以下の日程で開催します◆◆

地区	日時	場所
芝地区	1/14 (木) 18:00~20:00	芝公園区民協働スペース (芝公園保育園内)
麻布地区	12/22 (火) 18:30~20:30	麻布区民協働スペース (麻布保育園内)
赤坂地区	1/12 (火) 18:30~20:30	赤坂区民センター
高輪地区	1/13 (水) 18:30~20:30	高輪区民センター
芝浦港南地区	1/18 (月) 18:30~20:30	芝浦区民協働スペース
台場地区	1/8 (金) 18:30~20:30	台場区民センター

まちづくりマスタープランや意見交換会について感想やご意見などお寄せください！
また、意見交換会への参加者を引き続き募集していますので、ご希望の方はご連絡下さい。

港区 街づくり支援部 都市計画課 街づくり計画担当

TEL 03 (3578) 2235、FAX 03 (3578) 2239

〒105-8511 東京都港区芝公園 1-5-25 (港区役所本庁舎 6 階)

港区まちづくりマスタープラン
意見交換会ニュース

赤坂地区
No.2
2015.11.9

赤坂地区での第2回意見交換会を開催しました

平成 27 年 11 月 9 日 (月) の 18 時 30 分から赤坂区民センターで、港区まちづくりマスタープランについての赤坂地区での第 2 回意見交換会を開催しました。ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました。

第 1 回意見交換会では、地区の魅力と課題についてご意見をいただきましたが、第 2 回意見交換会では、「港区を取り巻く状況の変化」や「将来都市像」について、スライドで紹介した後、「港区は今後どのようなまちになっていくといいか」について意見交換しました。

出された意見を模造紙にまとめ、最後に振り返りを行いました。意見の詳細は裏面をご覧ください。

話合いは 1 時間程度でしたが、意見やアイデアを出し合っ、活気ある話合いになり、時間通りに終了することができました。

第 3 回意見交換会では、「地区の課題や問題を解決するためにどのような取組を行えばいいか」についてご意見をいただく予定です。



まちづくりマスタープランとは

- おおむね 20 年後を目標とするまちの将来像やまちの基本的な方針などを示すものです。
- 区全体のまちの将来像と地区別の特性に応じたまちづくりの方針で構成されています。
- 都市計画や建築、交通などのハード面に限らずバリアフリー、子育て、緑、環境、防災、防犯などのソフト面を含めた計画です。

意見交換会とは

- 地区ごとに開催し、区民の皆さんからきめ細かな地域の情報や実情などを伺い、その地区の課題や計画内容について話し合う会です。
- 各地区 3 回程度開催する予定で、2 回は既に開催しました。3 回めの予定は最後のページに紹介しています。

様々なまちの将来都市像が出されました

※意見交換会の内容を要約・整理して掲載しています。

まちの変化が魅力

- ・都会は行くたびにまちが変わるのが魅力

知恵や文化を感じられるまち

- ・ハコものに頼らない
- ・高層ビルだらけにならないように。魅力は大型開発ありきではない。
- ・経済（効率）最優先ではない。
- ・特区、特定街区以外の地域での高さ制限（低層）をして住みやすい区にする。
- ・開発業者優先にしない。
- ・人間らしい生活ができる。
- ・住みやすいことが第一。

落ち着いた景観のあるまち

- ・広告看板、建物名称の電飾ネオン等、光公害のない街、看板等のない街
- ・おだやかなまち

歴史ある街並みを大切に

- ・歴史ある街づくりのための建築制限を。古い街並みを維持する。
- ・歴史ある建物を残すとともに再現する。
- ・保全したいものは写真や絵入りの分かりやすい看板を（高価なものでなくてもよい）
- ・区史には明治4年の赤坂御門の広重の絵がある。

公開空地を公共的に活用

- ・民間の公開空地を地域の祭りで使いたい。
- ・南青山二丁目町会内に公園がない。御神輿を出すスペースが必要。
- ・1町会に1公園。ふだんは憩いの場として、災害時に活用できる公園がほしい。
- ・地震などの災害時に使える開けた広場があるとよい。
- ・公共空間の利活用が楽しみです。

【将来都市像】

大人の落ち着いたあるまち

子どもが誇らしく思えるまち

- ・子どもが少なくならないように工夫する。
- ・子ども達が故郷であるとほこらしく思えるような暖かい街

助け合いのできるコミュニティのあるまち

- ・公立小学校を拠点とするようなコミュニティの形成（将来、町会が機能しない場合）
- ・現在、在校生向けのスポーツ部活動があり、地域の人が教える。
- ・区民が主体的に行動できるようなしかけのある、行政に頼りすぎないまち。
- ・防犯カメラの設置義務化で安心して住めるまち
- ・高齢者、社会的弱者（ハンディキャップのある方）、未就学児が一体となって生活できるような土地、建物の確保

歩きやすいまち

- ・道の改善は歩きやすいことを第一に。
- ・人のための道路に（車中心ではない）
- ・歩道の舗装に道先案内を（横浜はかっこいい）
- ・横断歩道は高齢でも渡りやすいように青信号を長くしてほしい。
- ・幹線道路以外は通り抜け禁止にする
- ・コミュニティ道路、ハンプを設けては？
- ・生活道路の通過交通を禁止に。
- ・幅員のせまい4m以下の道路は通り抜け禁止、通行止めにする。
- ・人が安全に歩けるまち。人を優先にする道路行政を。

移動しやすいまち

- ・コミュニティバスの路線図の充実を。一部隣接した区と連携する。

自転車を使いやすく

- ・自転車駐輪場は一度に10台くらい駐められるくらいで、たくさん多くの場所にほしい。
- ・駐輪場は駅の近くとその中間くらいに設置してほしい。
- ・商店等の駐輪場も必要。
- ・駅での駐輪場の義務付けを。
- ・公開空地に地域に開かれた自転車置き場を。
- ・シェアサイクルは、三輪車（大人向け）やいろんなサイズを用意して欲しい。

みどりを大切に

- ・景観の植樹は大きく育てるものを（剪定などしない）
- ・自然を大切にするまち 例、高輪の森、子どもの遊び場
- ・緑の多い街に。公開空地は全て緑を中心に計画する。
- ・赤坂御用地のみどりはとてもきれいである。



【参考】検討委員会での将来都市像やまちの姿についてのご意見

- 「住み続けられるまち」では、港区の特徴である“職住近接”についても加えてはどうか。
- 「個性的で多様なまち」では、地区の多様性だけでなく、港区の特徴である人々の“多様性”を活かしていくことも加えてはどうか。
- 「安全・安心なまち」では、交通安全についても加えてほしい。犯罪より交通事故は多い。
- 「世界に開かれたまち」という視点を加えた方がよい。大使館や国際企業、ホテル等、日本の国際化における港区の重要性がわかる資料がほしい。